

けんこう静岡

第95号

平成20年
(2008年)
10月1日(水)

季刊 1部50円 年200円
(送料税別)

発行所
財団法人 静岡県予防医学協会

(本部) 〒421-1292 静岡市葵区建穂1-3-43
☎ (054) 278-7716 FAX (054) 278-7717

http://www.shsa.net

(東部事務所) 〒410-0059 沼津市若葉町1-16 ☎ (055) 921-1934
(西部検査所) 〒435-0006 浜松市東区下石田町951 ☎ (053) 422-7800
(総合健診センター) 〒426-8638 藤枝市善左衛門2-11-5 ☎ (054) 636-6460

発行責任者 石黒 満 印刷 明和印刷株式会社

新型インフルエンザウイルス

ヒトに感染すれば

高い死亡率に

『咳エチケット』など正しい理解、教育が不可欠



県西部浜松医療センター

副院長兼感染症科長 矢野 邦夫

新型インフルエンザが発生するのではないかと危惧されている。

1918年、「スペインかぜ」が世界中に蔓延し、全世界で二千万人から四千万人の人々が死亡した。このとき、日本でも全人口の三分の一が感染し、約十万人が死亡した。このようなインフルエンザが再び大流行することが心配されているのである。

新型インフルエンザウイルスはトリインフルエンザがヒトに感染しやすく変化した場合と、トリインフルエンザとヒトインフルエンザが同時に感染したブタの体内でウイルスの遺伝子が交わって、新しいウイルスが生まれる場合に発生する。スペイン風邪は前者であり、アジア風邪は後者であった。

どちらにしても、それらは人類が経験したことのない新しいウイルスなので、誰も抵抗力を持っていない。そのため、一度流行が始まると、世界中で大流行し、多くの人々が死亡するのである。

◆ H5N1型という強毒性のトリインフルエンザが東南アジアを中心に流行しており、ヒトにも感染している。現時点では、H5N1トリインフルエンザウイルスはヒトからヒトへの感染力があまり強くないが、ヒトに感染した場合の死亡率は60%以上である。したがって、ヒトからヒトへの感染力が強まり、世界中で流行するようになるなど多数の人々が死亡すると推定される。多くの犠牲者を出したスペイン風邪ですら、死亡率は2%であった。

◆ たので、死亡率60%以上のH5N1の大流行は想像を絶する死者数をもたらす可能性がある。新型インフルエンザ対策には、ウイルスに対するワクチン（パンデミックワクチン）を大量に生産すればいいのであるが、まだ発生していない新型インフルエンザウイルスに対するワクチンは生産できない。パンデミックワクチンは流行が始まってからしか生産できないし、作り始めてから大量生産できるようにするには数ヶ月を要する。し

行したときに、不足するものは、①タミフル、②マスク、③人工呼吸器、④病院ベッド、⑤死体焼却所、などがあ。これらを準備することは大切であるが、更に重要なことは一般の人々のインフルエンザ対策についての正しい理解である。例えば、咳などの症状のある人は周囲の人々にウイルスを感染させないように、マスクを装着して手洗いする「咳エチケット」の啓発が大切である。咳エチケットなくして、新型インフルエンザ対策はできない。また、プレパンデミックワクチンやパンデミックワクチンについての正しい理解も大切である。このワクチンに対する理解がなされない、むしろ新型インフルエンザの流行を加速してしま

◆ これらのワクチンを接種するのが当然であるが、最初ワクチンの優先対象となると、多くの人が「自分たちを優先にするのはけしからぬ」と言うかもしれない。水道といたってライオンが、しかし、これはインフルエンザの流行についての正しい理解がなされていない発言といえる。新型インフルエンザが流行すれば、多くの人々が病院に殺到するであろう。医療従事者が新型インフルエンザに感染してしまうと、病院が機能しなくなる。病院が機能しなければ、多くの人命が救われなくなる。また、感染した医療従事者が感染源となつて、さらにインフルエンザを他の患者に感染させてしまう危険性もある。

◆ プレパンデミックワクチンやパンデミックワクチンが接種されるようになる。接種の優先順位が決められる。すべての国民に接種するのが当然であるが、

◆ 【矢野邦夫著書】
● エビデンスに基づいた抗菌薬適正使用マニュアル
● CDCの透析感染対策エッセンス集
● HBV、HCV、HIVの職業上曝露への対応と曝露後予防のためのCDCガイドライン
● 慢性血液透析患者における感染予防のためのCDCガイドライン
● 造血幹細胞移植患者のためのCDCガイドライン など

◆ したがって、医療従事者への優先接種は必須の対策なのである。電気や水道といったライフラインを担当する人々が病気になる、これはインフルエンザの流行に於いては、これら機能は停止し、社会は大混乱となる。したがって、社会は大混乱を避けるために、インフルエンザに優先的にワクチンを接種することは、職種の人間に優先的にワクチンを接種することは、必須の対策であるといえる。

◆ したがって、医療従事者への優先接種は必須の対策なのである。電気や水道といったライフラインを担当する人々が病気になる、これはインフルエンザの流行に於いては、これら機能は停止し、社会は大混乱となる。したがって、社会は大混乱を避けるために、インフルエンザに優先的にワクチンを接種することは、職種の人間に優先的にワクチンを接種することは、必須の対策であるといえる。

された人々は「自分は新型インフルエンザに抵抗力がある」と思い込むかもしれない。すると、発熱などの人々に接触する際には、マスクや手洗いもせずに、無防備接触してしまう。このような対応は避けたい。プレパンデミックワクチンが接種されたとしても、マスクや手洗いは必須なのである。したがって、プレパンデミックワクチンの有効性を十分に理解した人々のみにワクチンを接種しなければならぬ。逆に言う、理解していない人々には決してワクチンを接種してはならないのである。

◆ したがって、医療従事者への優先接種は必須の対策なのである。電気や水道といったライフラインを担当する人々が病気になる、これはインフルエンザの流行に於いては、これら機能は停止し、社会は大混乱となる。したがって、社会は大混乱を避けるために、インフルエンザに優先的にワクチンを接種することは、職種の人間に優先的にワクチンを接種することは、必須の対策であるといえる。



◆ したがって、医療従事者への優先接種は必須の対策なのである。電気や水道といったライフラインを担当する人々が病気になる、これはインフルエンザの流行に於いては、これら機能は停止し、社会は大混乱となる。したがって、社会は大混乱を避けるために、インフルエンザに優先的にワクチンを接種することは、職種の人間に優先的にワクチンを接種することは、必須の対策であるといえる。

年一回は健康チェックを！

健康はあなたの財産です
すこやかな明日のために

人間ドック 脳ドック

総合健診センター
ヘルスポート
〒426-8638 藤枝市善左衛門2-11-5
TEL 054-636-6460
FAX 054-636-6465
☎ 0120-39-6460